

## 12 月終業式

聖書 ルカによる福音書 10 章 25-28 節（新約聖書 126 頁）

すると、ある律法の専門家が立ち上がり、イエスを試そうとして言った。「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか。」イエスが、「律法には何と書いてあるか。あなたはそれをどう読んでいるか」と言われると、彼は答えた。「『心を尽くし、精神を尽くし、力を尽くし、思いを尽くして、あなたの神である主を愛しなさい、また、隣人を自分のように愛しなさい』とあります。」イエスは言われた。「正しい答えだ。それを実行しなさい。そうすれば命が得られる。」

## み言葉を生きる

律法の専門家とはユダヤ教の教えを守り、教える立場の人たちでした。しかしイエスが罪人と共に食事をし、病にある人に触れているのは神様を冒瀆していると憎んでいました。そこで彼らは「先生、何をしたら、永遠の命を受け継ぐことができるでしょうか」と罣をかけ、糾弾しようと狙っていたのです。

イエスはそれには答えず、逆に「律法には何と書いてあるのか」と質問します。すると彼らは「主なる神を愛し、隣人を自分のように愛することです」と答えます。間違っていない。そのように書いてあります。しかし彼ら自身が聞いていたのは「何をしたら」でした。だからイエスは「それを実行しなさい」と言ったのです。

そこで、皆さんもよくご存じのサマリア人が旅人を助けた話が続きます。私たちも頭ではわかっている、実際それができないことはたくさんあります。もちろんコツコツ努力できる人もいます。勇気のある人もいます。でも人が困っている時に、すぐに行動に移せるのは、その時になってみないとわかりません。

善悪を頭で知っている、それを行動に移す、そしてもう一つ、その時になってみないとわからない。これらは日々、聖書の言葉に励まされているから自然にできることではないでしょうか。どうか休み中も、例えば旧約聖書の『箴言』や『詩編』など、箇条書きの読みやすい聖書を読み、祈りの時を持つことをお勧めします。

(しばらく黙祷しましょう)

慈しみ深い主よ、後期十二月までの学びを守り導いてくださったことを感謝いたします。どうか心身共にゆっくりと休息の時を過ごし、喜びと感謝をもって新しい年を迎え、心新たに自らの学びを始めることができますように導いてください。明日の学校クリスマス控え、いまでも平安を求め祈り、平和を待ち望む人々のために祈ります。愚かにも分かれ争う人々に悔い改めの心を与え、嘆き悲しむ人々の祈りを省み、御心ならばひと時でも早く平和の時を与えてください。この世の光として、平和の君として来られたあなたを待ち望みます。今日一日もすべてをあなたに委ね、よき学びのうちに過ごさせてください。主イエス・キリストによってお願いいたします。アーメン